

3 令和元年度施策の進捗状況検証結果 個票

基本目標 1 子育てしやすいまち																									
目指す将来像	多様な保育サービスの利用や、コミュニティの中での支えあい、さらには費用面での支援により、子育て層が希望の子どもの数を持って、ゆとりを持って生活(子育て)している。																								
数値目標	子育て層の住みやすさの満足度(市民満足度調査)(H26・H28は本調査、H27・H29・H30はweb調査)																								
現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	4.8点	<table border="1"> <caption>子育て層の住みやすさの満足度(市民満足度調査)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.87</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>4.95</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>5.3</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>5.52</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5.0</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	目標値	H26	4.8	5.0	H27	4.87	5.0	H28	4.95	5.0	H29	5.3	5.0	H30	5.52	5.0	R1	5.0	5.0
年度	現状値	目標値																							
H26	4.8	5.0																							
H27	4.87	5.0																							
H28	4.95	5.0																							
H29	5.3	5.0																							
H30	5.52	5.0																							
R1	5.0	5.0																							
目標値	R1年度	5.0点																							
実績値	H30年度*	(5.52点)																							
数値目標	子育て層の定住意向「ずっと住みつづきたい」の割合(市民満足度調査)(H26・H28は本調査、H27・H29・H30はweb調査)																								
現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	52.8%	<table border="1"> <caption>子育て層の定住意向「ずっと住みつづきたい」の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>現状値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>52.8</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>43.0</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>52.1</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>50.0</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>55.1</td> <td>58.0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>58.0</td> <td>58.0</td> </tr> </tbody> </table>		年度	現状値	目標値	H26	52.8	58.0	H27	43.0	58.0	H28	52.1	58.0	H29	50.0	58.0	H30	55.1	58.0	R1	58.0	58.0
年度	現状値	目標値																							
H26	52.8	58.0																							
H27	43.0	58.0																							
H28	52.1	58.0																							
H29	50.0	58.0																							
H30	55.1	58.0																							
R1	58.0	58.0																							
目標値	H31年度	58.0%																							
実績値	H30年度*	(55.1%)																							
補助指標	多様な住まい方・空き家活用関連事業参加人数(地方創生推進交付金KPI) ※空き家セミナーや地域ワークショップの等の参加者数																								
	実績値	172人	目標値	170人																					
基本目標への 実現への効果	R1年度においては、保育園での定員増加により待機児童解消に努めるとともに、多様なニーズに応えるため、様々な保育サービスの提供、幼稚園における預かり保育などを実施した。また、一般不妊治療費助成などの費用面での支援、ファミリーサポート制度などのコミュニティの中での支えあいが、子育て層の住みやすさの満足度、定住意向の向上に寄与したと考えられる。																								
取組総括	女性の社会進出等により増加する保育ニーズに対応するため、保育所の開園やこども園への移行等により待機児童の減少に取り組んだ。また、防災・防犯や地球環境問題への対応により、良好な環境づくりに取り組むとともに、医療費助成の中学生までの拡充など子育て層の経済的な負担軽減を図った。これらの取組により子育てしやすい環境の整備を図った結果、数値目標「子育て層の住みやすさの満足度」が目標を大きく上回った。第2期総合戦略においても子育て層をサポートし、出生率の向上に向けた取組を進める。																								

※ R1 満足度調査 (R2.5 実施予定分) は新型コロナウイルス感染拡大のため R2 下半期に延期。

基本目標 2 母親が希望のしごとをできるまち

目指す将来像	市内企業でのワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、母親が子育てしながら多様な働き方を選択しているとともに、母親が希望のしごとを自ら起業し、家計を支える収入を得ながら子育てとの両立に繋げている。		
数値目標	女性の就業者数（「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」を含む）（国勢調査）		
現状値 （総合戦略策定時）	H22年度	18,814人 (20,457人)	<p>現状値 20,337 目指す値 19,300 18,814</p>
目標値	H31年度	19,300人 (20,985人)	
実績値	H27年度	20,337人 (22,201人)	
数値目標	女性の新規起業数（生駒市起業支援融資制度利用の女性起業家）		
現状値 （総合戦略策定時）	H26年度	1件	<p>目指す値 6 現状値</p>
目標値	R1年度	6件	
実績値	R1年度	1件 (H27以降申請10件中10件男性)	
補助指標	多様な働き方に関するセミナー等参加人数（地方創生推進交付金 KPI） ※市が開催する多様な働き方に関するセミナー等の参加者数		
	実績値	155人	目標値 200人
基本目標への 実現への効果	R1年度において、テレワーク&インキュベーションセンターイコマドを軸として、ワーク・ライフ・バランス向上に向けた取組や起業支援セミナー等を行い、「母親が希望のしごとをできるまち」を目指した。交流会やセミナーへの参加者は大幅に増加したものの、数値目標として掲げている「女性の新規起業」には至らなかった。今後も、引き続き、起業支援を行うとともに、各業種での雇用拡大に向けた取組を推進し、母親が希望の仕事に就けるようサポートしていきたい。		
取組総括	産官学合同のイクボス宣言式の開催により、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図るとともに、テレワーク&インキュベーションセンター「イコマド」を通じたサテライトオフィス誘致や起業支援により、テレワークや在宅勤務など多様な勤務形態を推進し、子育て層の女性が自ら起業できる環境と子どもの近くで母親が希望する仕事に就ける環境を整備することができた。第2期総合戦略においても、イコマドを中心に多様な働き方の更なる推進に努め、子育て層の女性が職住近接により働くことができる環境の整備を図っていく。		

基本目標 3 子育て層（特に女性）が転入したいまち

<p>目指す将来像</p>	<p>子育て層（特に女性）にとって魅力的なイベントが企画、開催されるなど、まちの魅力の発信力が強化され、本市の都市ブランド力が向上しているとともに、その魅力に惹かれて市外から子育て世帯（親との同居・近居を望む生駒市出身者を含む）が新たに市に流入してきている。また、市内においても、子育て世帯だけでなく 20～24 歳を中心とした若年層や高齢者などの他の世代の転出抑制にも繋がり、市民の定住促進が進んでいる。</p>						
<p>数値目標</p>	<p>子育て層の転入者数（住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）の1～12月の30歳代の転入者数）</p>						
<p>現状値 （総合戦略策定時）</p>	<p>H25 年度</p>	<p>1,179 人</p>					
<p>目標値</p>	<p>H31 年度</p>	<p>1,238 人</p>					
<p>実績値</p>	<p>H30 年度</p>	<p>822 人</p>					
<p>補助指標①</p>	<p>働き盛り世代（25～44 歳）の純移動数（地方創生推進交付金 KPI）</p> <table border="1" data-bbox="438 963 1404 1041"> <tr> <td>実績値</td> <td>+76 人（前年比）</td> <td>目標値</td> <td>+30 人（前年比）</td> </tr> </table>			実績値	+76 人（前年比）	目標値	+30 人（前年比）
実績値	+76 人（前年比）	目標値	+30 人（前年比）				
<p>補助指標②</p>	<p>情報接触件数（地方創生推進交付金 KPI） ※魅力体感イベント参加者数、ポータルサイト閲覧数、フリーペーパー配布数の合計。</p> <table border="1" data-bbox="438 1131 1404 1198"> <tr> <td>実績値</td> <td>178,476 件</td> <td>目標値</td> <td>30,000 件</td> </tr> </table>			実績値	178,476 件	目標値	30,000 件
実績値	178,476 件	目標値	30,000 件				
<p>基本目標への実現への効果</p>	<p>R1 年度において、「イコマニア」イベントや「市民みんなで作る音楽祭」などの文化芸術活動、子どもを対象としたスポーツイベント、「IKOMA SUN FESTA」などの子育て層（特に女性）にとって魅力的なイベントが数多く開催され、本市の都市ブランド力の向上に寄与した。 また、「いこまち宣伝部」やポータルサイト「グッドサイクルいこま」などによるまちの魅力発信力が向上した。</p>						
<p>取組総括</p>	<p>「いこまち宣伝部」の活動や「IKOMA SUN FESTA」、市民協働イベント「イコマニア」の開催、高山スーパースクールゾーンの整備などにより、本市の都市ブランド力は向上し、子育て層の満足度や定住意向は向上したものの、人口減少を止めることは難しく、子育て層においても転入者数が減少した。 第1期総合戦略において「目指す将来像」が達成されたとは言い難いが、危機的な人口減少に歯止めをかけるため、第2期総合戦略においても効果を検証した上で継続して取組を実施する。</p>						